

JENESYS2024 日本青年教育関係者訪中団に参加

中華人民共和国 曲阜師範大学・附属中小学校を訪問



2024年10月27日(日)～11月2日(土)の日程で、外務省の対日理解促進交流プログラムである「[JENESYS2024](#)」日本青年教育関係者訪中団（実施団体：[日中友好会館](#)、受入機関：中国日本友好協会）の団員として、本校教諭が中華人民共和国を訪問しました。

各種教育機関の訪問・視察の一つとして、10月31日(木)には山東省曲阜市にある[曲阜師範大学および附属小中学校](#)を訪問しました。教師博物館の見学や文化体験、授業見学の後、「中外教師杏壇会議」と題した日中教師による情報交換が行われました。曲阜は孔子のふるさとであり、学問を講じた場所である「杏壇」にちなんだ座談会でした。「デジタルとAI時代に、教師はどこへ向かうのか」というテーマで行われた座談会では、日本における生成AIガイドラインの整備状況や、本校の授業における生成AIの活用事例を伝え、生徒自らがAIを使いこなしながら探究できるように、教師が環境作りを担っていく必要性について主張しました。曲阜師範大学附属小の先生方からも、AIを助手として生徒を導いていくことの重要性について考えが示されました。



他にも、北京日本大使館、宋慶齡青少年科技文化交流センター、[陳経綸中学校](#)、[済南市外国語学校](#)の見学や訪問、北京市の教育関係者との座談会、ユネスコ世界遺産である万里の長城や孔子府・孔子廟の見学を行いました。訪中団は中国の方々に大変歓迎していただき、教育や文化を通じて相互理解を深めることができました。

※訪問先のリンクからは、中国の各学校が日本の訪中団について紹介しているページにつながります。